



広報 Nikaho City

にかほ



氣分は白瀬中尉 白銀の上を疾走

●『わくわく南極体験フェア』
~犬ぞり体験~：南極公園

主な内容

- 特集・大和雪原到達100周年…P 2～5
- まちの話題…P 6～7
- 市役所から行政情報チャンネルP 10～11
(市臨時職員募集ほか)
- 生活・環境情報…P 12
- くらしの掲示板…P 13～16

vol.154 2.15
2012
<http://www.city.nikaho.akita.jp>

がんばろう東北

白瀬南極探検隊100周年記念特集

その式拾



未知に挑む 「南十字星のもと」

大和雪原へ（前編）

内陸へ向け突進開始

1月19日、開南丸と別れた白瀬以下7名は、上陸するや眠りから覚めたように活動を開始します。しかし準備を済ませた矢先、白瀬ら3名が白色の氷原に照らされた強烈な陽の光で「雪盲症」にかかりましたため、この日の移動を止め、観測隊の天幕の設営を行います。

シドニーでも使用したこの天幕は、設営は雪を1・2m程掘り下げ、部屋の中央には手製火鉢を置き、頂上には日の丸の旗を掲げます。午前11時に設営作業を完了。天測による位置は南緯78度33分西経164度22分でした。

一夜を天幕で過ごし、犬たちと出発の準備を始めようとしたが、第一次航海で唯一生き残った犬の「マル」の姿はありませんでした。

花守は18日からマルを探していましたが、クレバスに落ちたのだろうと探索を打ち切るしかありませんでした。さらに1匹

も犬同士のけんかで負傷しました。橇は2台。15頭曳きの橇には花守、白瀬、武田、13頭曳きには山辺、三井所が乗り、5名の突進隊となります。突進隊は1月20日の正午に出発。武田は手にコンパス、胸に気圧計、腰に距離計をつけ、その場に残った観測隊の村松、吉野に「ささらば」と決別します。

13頭曳きの橇は推進力が弱く、わずか600m進む間に3度も橇が横転してしまいます。休む時には、天幕をはり、石油コンロで暖を取りながら湯を沸かし、鰯味噌の味噌汁で体を温めました。このみそ汁の味を、突進隊は皆、終生忘れず、他国ではない日本隊だけへ天与されたものと絶賛しています。

隊が進む雪原の雪は深さ15から30cmで、内陸に進むと様子が変化します。最初は泥のような雪が、南に行くつれ次第に堅くなりります。降り積もった雪がブリザードに吹き寄せられ凍結して、海豹が横たわっているほどの大きさのものを観察し「氷骨」と記しています。その上に橇が乗り上げ転倒してしまい、壊れたコンパスを直そうとした武田は凍傷を負います。

後ろの隊が遅れ、白瀬と三井所は橇

を押したりしますが、1月22日、荷物を下ろす決断を下し、防寒服その他と9日間分の食糧など150kgもの荷物を雪中に貯蔵と称して埋めていかざるを得ませんでした。

この9日間分の食糧を置いて行つたことが、最終到達地点を早める結果になってしまうのです。

わらび座ミュージカル☆ 入場無料！
白瀬中尉物語 南十字星のもとへ

3月1日(木) 9:50～
14:00～
公演は約70分(予定)
3月2日(金) 14:00～
仁賀保勤労青少年ホーム

2月18日(土)から

入場整理券を白瀬記念館で配布。
電話、ファックス、メールでの予約不可。

**白瀬日本南極探検隊
100周年記念事業推進事務局**
☎ 38-4670
白瀬南極探検隊記念館
☎ 38-3765



企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所
〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地

☎ 0184-43-3200 (代表) ☎ 0184-43-7510 (直通)
電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp
ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp>

広報にかほは、にかほ市ホームページでもご覧いただけます